

3 すべての人に健康と福祉を

政策提案

高齢者のエアコン・補聴器へ支援を



安心・安全な生活を過ごすための支援を

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

政策提案

脱炭素に実効性のある施策の展開を



再エネ促進区域設定市町村の努力義務！

9 産業と地域革新の基盤をつくろう

政策提案

課題達成に向け事業展開を



その他の質問「森林環境譲与税を活用した森林整備」

大澤 博議員

生活支援を



エアコン・補聴器、購入助成は

問 新型コロナウイルス感染症拡大で、自宅を過ごす時間が増えた高齢者が、エアコンが無く、熱中症で亡くなる事故が起きています。また、加齢による聴力低下で会話が困難になることで、うつ病や認知症の発症が高くなります。予防には補聴器の早期装着が必要です。ともに、高価で買えない高齢者への支援について伺います。

助成の考えはありませんか

答 エアコンは月々わずかな負担で設置が可能です。助成は考えていません。経済的困窮により困難な方の相談には応じます。難聴の程度により障害者手帳の交付に該当となる場合があります。該当すれば補聴器の補助が受けられるため、助成の考えはありません。

佐藤理美議員

脱炭素社会



脱炭素社会推進の取組は

問 「改正地球温暖化推進法」が今年5月、可決・成立し、最大の柱に「脱炭素社会」の実現が法的に位置づけられました。また「2050年までに脱炭素社会の実現を旨として、国民並びに国、地方公共団体、事業者及び民間団体等の密接な連携の下に行われなければならない」と明記されました。今後町として地球温暖化対策を含め、脱炭素社会に向けた取組を伺います。

方向性や課題を整理し進めます

答 これまでも低炭素社会実現に向けて取り組んでいますが、法律の改正により、今まで以上の取組を行う必要性が考えられます。新たな方向性や課題を整理し、推進したいと考えています。

中嶋文雄議員

農林業振興



策定後の農林業振興ビジョンは

問 農林業を取り巻く環境は益々厳しさを増しています。その中で「新規参入の促進と意欲ある農業者育成」「耕作放棄地の発生防止・解消」「農業者の所得向上」「森林資源の有効活用」を課題に掲げ、平成30年に寄居町農林業振興ビジョンは策定されました。3年経過した段階ですが、成果を伺います。

未だ解消されない課題が多い

答 計画策定時に捉えた課題解決に向け事業を展開中ですが、担い手育成や耕作放棄地等の課題解消には至っていません。その中で耕作放棄地対策は、定年就農者3名が誕生。また農業者の所得向上を目指し、特産品の「寄居とろろナス」の普及を図っています。

議員が聞いた！ 今とこれから

一般質問

9月定例会では16名中7名が登壇しました



町のさまざまな課題等について、議員が自身の提案も含めて、町に考えを聞くのが「一般質問」。ここでは、各議員1項目についてダイジェスト版でお知らせします。

スマホで議会を見よう！

寄居町議会 議会中継



見たい会議や議員名を選んで視聴できます。注）公開までには、一定の期間を要します。

ご存じですか？ SDGs
エス・ディー・ジーズ



Sustainable (持続可能な)
Development (開発)
Goals (目標)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

誰一人取り残さないようにするために、世界で取り組む17の共通目標。(寄居町でも、第6次寄居町総合振興計画後期基本計画において、『これからの「持続可能なまちづくり」には持続可能な開発目標であるSDGsの視点を取り入れていくこと』としています。)



※各議員の政策提案に関連する目標ロゴを掲載しています。

5 ジェンダー平等を實現しよう

政策提案

実効性ある男女共同参画の推進を！



その他の質問「18歳未満で家族の介護やケアを担うヤングケアラーへの支援」

田母神節子議員

ジェンダー



パートナシップ制度創設は

問 日本のジェンダーギャップは、世界156か国中120位と大きく遅れています。新型コロナウイルスの感染拡大は、深刻なジェンダー格差を浮き彫りにしました。雇用、自殺、性犯罪等々、当町のあらゆる分野において、ジェンダー平等社会の実現に実効性のある計画が必要。そのひとつが県内市町村で導入が進む「同性パートナーシップ制度」で、導入を機にまちへ移り住むカップルもいると聞きます。制度の創設について伺います。

答 まずは町内での性的少数者の方々に対する理解の増進を図るための啓発や教育を進めることが必要であり、現時点では導入の考えはありません。

みんなで協力できるまちになるといいね